

平成23年度川崎区区民会議第1回高齢者部会

日 時：平成23年5月11日（火）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 4人

星川孝宜、猪熊俊夫、富田順人、吉野智佐雄

1. 開会

(事務局)

<会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

(星川部会長)

第3期区民会議の2年目なので、まとめの年になる。昨年度末に大師地区をみんなで歩いてマップづくりに検討しましょうと提案したが、3月11日に東日本大震災が発生し、中止になってしまった。事務局も大変な思いをして作業を進めていただいているが、中間報告をまとめないといけないし、5月25日には全体会が開催される。取りまとめに向けて少し遅れているので、みなさんの御協力をいただきたい。

また、本日は、これまでで最も少ない4名である。また、異動に伴い、委員も変わっている。

(事務局)

それでは、委員の紹介であるが、まずは田辺委員と原委員については退任されることになり、現在、後任を検討いただいている最中である。

2. 議 題

(1) 高齢者部会に関する課題解決策について

①ウォーキングマップ作成方針について

(事務局)

本来は、散歩コースを歩いていただいてから審議を行う予定だったが、震災の影響により中止とし、本日は審議にのみである。(資料説明)

(星川部会長)

本来であれば、まち歩きを行い、それを踏まえてウォーキングマップの作成方針を検討することになっていたが、震災の関係でできなかったのも、まずはプロジェクターを見ていただきたい。

(コンサルタント)

それでは、みなさんスクリーンを見ていただきたい。(スライド説明)

(星川部会長)

みなさん、足を運んだことのある地域だと思うが、感想や意見をいただきたい。

(猪熊委員)

全体的にみて、マップをつくることにおいて、歩く人の目的は何かということを思った。その目的がしっかりしていないと、なかなか歩きにくいということと、商店街の楽しく歩くには、自転車や自動車が道路に駐輪、駐車されていると歩きにくいと思った。

(吉野委員)

一目見て、マップの中のウォーキングするところなんだということがわかるようにする必要がある。また実際の道路に色を付けてしまうことも良いと思う。そうすれば、放置自転車や違法駐車が少なくなるのではないか。あと終点に来てどうするのかと思う。以前、猪熊委員がおっしゃっていた周回性も取り入れる必要があるのではないか。

(猪熊委員)

このあたりは、商店街が大変疲弊してきていると聞いている。この散歩コースが、商店街の活性化に繋がれば良いかなと思う。今、この中には昔からのお魚屋さんがあって、そういうような商店街とタイアップして、魅力づくりにつなげたらどうか。

(吉野委員)

私もそう思うのだが、東京新聞で地域の商店街を紹介しているが、お店の品物まで紹介している。どこそこのお菓子はどうとか。ここのウナギはどうとか。ただ、行政が出すものについて、そういう情報は書けるのか。

(猪熊委員)

そういうのを楽しめるうまいマップができると良い。コミュニティバスの方で、吉祥寺のまちがなぜ良いかという、古いものがちゃんと残されている。私は、思うのだが、川崎の中心街には、それがないからだめだと思う。川崎の中心には、パチンコ屋とクスリ屋しかないから。

(富田委員)

ウォーキングマップの作成方針、大変よくできていると思う。まず最初には、これで作ってみたらどうかと思う。それで、自分たちで歩いてみて、どういうものを付け加えたら良いかを考えたらどうか。これをもとにウォーキングマップを作成したらどうか。

(星川部会長)

先ほど商店を紹介したらという意見があったが、区で発行するものでも可能か。経済労働局なら可能かもしれないが。

(副区長)

どの程度だったら良いかという問題であるが、経済労働局は、商店街活性化という目的があるので情報を載せられる。川崎区らしさというものが表現されており、誰もがそう思えるのなら良いと思う。

(事務局)

個人商店名を載せるというより、商店街の紹介なら可能だと思う。また菓子屋とか魚屋などの表記なら大丈夫かもしれない。それを加味して実際に区がどう受け取るかは、調整が入るかもしれないが。視点としては悪くないと思う。

(富田委員)

まずは歴史を紹介する必要があると思う。

(吉野委員)

今の資料は、名所の名前しか載っていないが、石観音ならばどんな云われがあるかとか。

(富田委員)

そういうものを最初に紹介して、そこの商店街に来てもらうような。そうなら広告にならないと思う。

(猪熊委員)

ただ歩くだけだとさみしい。途中で楽しめるものがあると良い。その中にたとえば若宮八幡宮の歴史だとか、観音一丁目の云われだとかがわかれば良い。観光の視点も入れた中での回遊性が必要だと思う。

(星川部会長)

市長は観光振興にも力を入れているので。最終的にどうするかは、これから考えるとして、たとえば昔ながらの豆腐屋さんがここにあるよとか、地域の情報が入るとなお良い。

(吉野委員)

これで商店街をどう絡めるかである。普通の人に、ここ歩いてみませんかでは、歩かないと思う。ここの通りは面白いと興味を引かないと。

(猪熊委員)

大師だと桜並木があつて、桜を楽しむために歩くんだという動機づけが必要である。この通りは何が楽しいかを明確にする必要がある。

(富田委員)

あと、車がスピードを出させない仕組みがあるとか、そのためにこの道路の形状はなっているんだというような説明もあつた方がよい。せつかくこんなにきれいな道路なので。

(吉野委員)

一度歩くといろいろなアイデアが出てくる。あと石観音スタートというのは、良いのだが、どうやって石観音まで行くのか。大師公園の裏側から回ってくる道があると思うが。川崎大師の解脱門から行ける道がある。すぐである。

(事務局)

石観音見つけるまでが迷子になりそう。

(星川部会長)

石観音までは、バスで行くしかないと思う。川崎大師から歩くと一本道だが。

(吉野委員)

猪熊委員がおっしゃるとおり、観音町は、石観音が由来になっている地名である。ですからそんなようなことを書くとか。そんなんで、ここは区内では毛色が変わった地区だ。

(事務局)

集合場所は、観音町のバス停になるのか。

(吉野委員)

私の経験上、バス停集合というのはよくない。駅と違って集合するスペースがない。集合するのなら鉄道の駅である。バス停はたいてい道路際、10名も集まると他の通行の邪魔になる。

(星川部会長)

若宮八幡宮へ行くのに、なぜパチンコ屋の脇道を通るのか。

(吉野委員)

本当は、ウナギ屋の前を曲がると良いのだが。そこから行くと横断歩道で渡れる。

(星川部会長)

ウナギ屋さんのところで曲がるのが良いと思う。お祭りの神輿もその通りを通る。

(副区長)

私は、川崎区生まれ川崎区育ちなのだが、それでも川崎大師から石観音へ行けと言われても行けないと思う。大師の地区に住んでいる方は大丈夫だと思うが、他の方は、バスで行くことになると思うが、先ほど委員さんがおっしゃっていたように回遊性があった方が良い。

(吉野委員)

大師駅は、バスもくるので集合場所としてふさわしいと思う。広場もあるので集まりやすい。

(星川部会長)

一筆書きが必要だと思う。同じところを通らないで済むように。

(吉野委員)

でも、同じ道でも北側から通ると南側から通るとでは、表情が違って面白いのだが。

(事務局)

大師公園も一周させる必要はない。半周で良いのではないか。

(吉野委員)

瀋秀園みて大師駅に戻るのも良いと思う。あれだけの中国式公園を無料で入れるのはあまりないと思う。これは川崎の自慢だ。

(星川部会長)

話は余談だが、今はやりのコスプレイヤーにとって、瀋秀園が好評らしい。休みの日に、いろいろな格好をした若い人がたくさん集まる。瀋秀園は中国式の庭園と建築様式なので、そこで写真を撮ったりする。無料で入れるのでみんな集まってくる。

(吉野委員)

副区長がおっしゃるように大師公園と石観音を繋げるルートが必要だと思う。

(星川部会長)

起点は、集まりやすい場所に。

(吉野委員)

あとおすすめできるかわからないのだが、川崎区のマンホールを見て歩くというのがある。二ヶ領用水水系のマンホールとそうでないマンホールでは、分けがある。そんなのを見ていくのも面白い。でも。道路の真ん中にマンホールがあるので危ない。

(星川部会長)

今日の御意見から商店街の情報を盛り込む、ウォーキングするコースだとわかるようにする、起点は集まりやすいところが良い、回遊性が必要などを作成方針に加える。

(吉野委員)

ちなみに、港区のコースは、足跡が道路にプリントされている。

(星川委員長)

山下公園周辺でもそのようなものがある。まあ、あそこは観光地だが。サインなどが充実しており、マップを持って歩かなくても大丈夫なようになっている。

②中間報告に向けた実施方針及び実行計画の確認について

(星川部会長)

続いて中間報告に向けた実施方針及び実行計画の確認を行う。これは、前回の全体会で出された実施方針で、それから1回しか部会を開催していないので、訂正されていない。今月25日の全体会議で、まったく同じものを出すというわけにはいかないなので、修正すべきところは修正したい。(以下、資料2の修正点を説明)

これは、フォーラムの時の資料か。

(事務局)

そうである。このため、スケジュールを訂正しないといけない。あとコミュニティバスの審議も残っているので、そちらの方にも集中していただきたい。

(吉野委員)

資料 2-1 に書いてある最終的な目標は、この通りなのだが、資料 2-2 に書いてある中身が少し違うと思う。地域の文化や伝統が継承された仕組みをつくるということは、少し違うのではないか。少し文章のトーンが違うと思う。

(星川部会長)

そこは、訂正したいと思う。最初は、地域の文化や伝統への理解を深めるであった。

(吉野委員)

突き詰めるとこういうふうになると思うが。

(星川部会長)

地域の魅力を高齢者だけでなく、若い世代にも伝えていきたいという意味である。

(吉野委員)

そういうことだと思う。

(事務局)

資料 2-1 については、星川部会長が提案された内容でよろしいということか。

⇒全員了承。

(星川部会長)

もう一度修正、検討してみたらどうかというところを説明する。(資料 2-1、2-2 を説明)

(事務局)

主な役割の市民団体の内容は、これで良いか。継承する団体のままで。これは歴史ガイド協会を想定して出されていると思うが。

(星川部会長)

市民団体の力を借りてということだと思うが。

(吉野委員)

継承するが理解を深めるになったので。

(事務局)

その部分は、それに併せて修正していただく。

(星川部会長)

それでは、続いてコミュニティバスについて議論したい。任期が1年を切ってしまったので、これまでは視察をしましょう、いろいろなことやりましょうという意見が出されていたが、来年の3月までに何ができそうかという視点で議論していただきたい。(※資料2-1説明)
猪熊委員から何かあればご意見いただきたい。

(猪熊委員)

私が一番驚いたのが、小田地域や大師地域の人たちもバスが必要だという意見だった。やはり横の繋がりが重要だと思った。コミュニティバスの導入についても業者の方がやってくれないと成立しないので、市バスと臨港バスの方を呼んで、実際可能かどうか意見交換するところからはじめたいと思う。それができれば、アンケートやったり、専門家にヒアリングをしたりしたい。

(吉野委員)

富士見地区というのは意味があるのか。

(猪熊委員)

川崎区には中心がないとよく言われるが、その中心が富士見地区になると思う。川崎球場があつたり、今後再整備される計画があることや、そういう意味からも富士見地区が良いのではないか。

(吉野委員)

現状で行くと、テニス場があつて、これはテニスをする人だけのもので、競輪場があつて、アメリカンフットボール場があつて、川崎市民の利用価値から考えると教育文化会館である。富士見公園が、日比谷公園を目指すならわかるが。

(猪熊委員)

富士見公園内に駐輪場ができないだろうか。そしたら、そこに自転車を止め、川崎駅、さらには幸区までシャトルバスで行けないだろうかということを考えている。

(吉野委員)

富士見地区を川崎区の中央とするという計画があれば良いのだが。私は、昔から言っても競輪場じゃねえかという意見が多いし。

(猪熊委員)

富士見地区は、これからは競輪場を縮小していくそう。そして安心して行かれる公園にする。そして川崎球場を改築してアメリカンフットボールを中心とした球場に、いろいろな

意見を聞きながらしていくそうである。そういうことを含めると、富士見公園を中心とした回遊というのが必要ではないかということである。

(吉野委員)

富士見公園は、戦前のころとはまったく違う。区民の中には、富士見公園は、公園とつけるのはおかしいと言う人がいる。そういうことで、富士見公園のイメージから変えていけないといけない。今のままではいけないと思う。大きな構想があった方がよい。

(猪熊委員)

高齢者部会なので、そこまでやると外れてしまうと思う。

(吉野委員)

しかし、富士見公園周辺を歩けるようにするというのは、高齢者部会の範囲だと思う。散策する場所もない。

(猪熊委員)

そこについては、市の方でやっていくということだと思うが。さらに第1期区民会議でも出されていたかと思う。

(富田委員)

現在では、それを入れなくてコミュニティバスの検討を進めた方がよいと思う。おそらく富士見公園のことを入れたら、みんなから理解されなくなると思う。

(事務局)

前は、市立病院から教育文化会館の回遊はどうかという意見が出ていたと思うが。

(猪熊委員)

市立病院へは、今はシャトルバスが出ているし、そでは幸区からはどうするかという問題もある。

(吉野委員)

西口、東口回遊も必要だと思う。そうするとむしろ、市立病院や教育文化会館を出しておいた方がよい。また法務局があるが、そこに来る人は意外と多い。

(猪熊委員)

富士見公園だけでなく、市立病院、法務局、県立図書館、もちろん区役所、市役所も含め、あの辺りに来るようなコミュニティバスが必要なのではないかと思う。ただ、富士見公園と言うのは、これから素晴らしい公園になると思っているからである。

(吉野委員)

あの辺りは、官庁街である。

(星川部会長)

今の段階は、勉強会やりましょう、ヒアリングやりましょうという段階なので、富士見地区は、将来ビジョンから見ると中心かもしれないが、他の地区の人からしてみたらどうかなという意見もある。しかし、現時点では、富士見地区の文言が入っていても良いと思う。今の段階では、この形にしたいと思う。

あと、マイクロバスでも可とあるが、今の段階では、ここまで絞り込まなくても良いと思う。今後の検討でバスの車種も変わってくると思うので。

(猪熊委員)

コミュニティバスは、決して大きいバスでなくてよい。小回りの利くバスが良いと思う。みんなが親しみやすいようなバスにしたら良いと思う。

(吉野委員)

他都市のコミュニティバスは、小さなバスである。

(事務局)

マイクロバスでも可となると、原則マイクロバスではなくなるが、どうするか。今、部会長のおっしゃった広い範囲で検討できた方が良いと思う。

(星川部会長)

実用性の高い運行車種を今後検討することに。少し言葉が固いが。

あと取り組みスケジュールに導入事例の視察とあるが、たとえば吉祥寺のムーバスなど。しかし、事務局では日程調整ができるかと心配している。

(猪熊委員)

一度見ていただいた方が良い。

(事務局)

日程的に調整することが難しい。

(星川部会長)

コミュニティバス導入事例の把握・分析などという表現にすれば良いのではないか。

(事務局)

もしくは行ける人や事務局で取材へ行って、画像などで見せるとか。

(吉野委員)

ここから一番近いのは丸の内か。

(星川部会長)

渋谷でもやっている。

(猪熊委員)

市民と一緒にやっているのは、ムーバスだ。

(星川部会長)

導入事例を把握するために可能なら視察をするということでしょうか。

(猪熊委員)

どういうふうにやれば採算ベースに乗るかということを知りたい。

(星川部会長)

23年度は、コミュニティバスについて重点的に検討するというので。日程が合えば視察にいきたい。

3. その他

(星川部会長)

「川崎区の花制定委員会」の委員選出について全体会で報告があったかと思うが、これについて事務局より説明してほしい。

(事務局)

※資料3説明

スケジュールであるが、震災の関係で遅れると思う。正式なものは後日に説明できる。

(星川部会長)

どなたかに委員をやっていただけないか。

(富田委員)

代表して部会長にやっていただけないか。

⇒星川部会長が委員に選出されることが確認された。

以上